



# 佐高

スーパー グローバル ハイスクール

# SGH通信 2017

No. 51 (平成30年3月23日発行)

## Water Literacy Open Forum 2018 つくろう！伝えよう！水とSDGsの授業 (国際基督教大学セミナー)

3月21日(水・祝)、「Water Literacy Open Forum 2018つくろう！伝えよう！水とSDGsの授業」(国際基督教大学セミナー)に、佐野高校1年生8名が参加してきました。

水とSDGsの関係性を伝える授業やプレゼンをつくり、授業を受けたりしながら、3月22日の「世界水の日」の前にWater Literacy(これだけは知っておきたい水のこと)を6つの班に分かれて考え、発信するアクションを実践しました。

総合ファシリテーター：実行委員長：橋本淳司さん(アクアエデュケーター、日本の水教育の第一人者)

各班ファシリテーター：マークランガガーICU教授、吉野輝雄ICU名誉教授、佐藤敬一東京農工大学准教授、ウォーターエイドJAPAN事務局長・高橋郁さん、八千代エンジニアリング(株)・藤原雄太さん、雨水市民の会・笹川みちるさん

### ①最初に東京農工大の学生による研究報告

同大4年の高島あずささんによる授業作りの研究発表があり、佐野高校生による佐野小学校への出前授業についての成果報告がありました。



### ②SGH指定校の生徒同士のジョイントも実現！

同じSGHの静岡県立三島北高校生(1年生)も参加し、初対面ながら力を合わせて授業作りとプレゼンを行いました。

三島北高校の生徒たちと一緒に、

昼食時もランチミーティングの形でアイデアが飛び交いました

佐高生、早稲田大学生、市民の方等多様性あるチームでの協働です。



クイズあり、ゲームありの楽しい授業を作って実践しました。

実践1回目で見つかった課題解決のため作戦会議です。

みな1年生と思えない、堂々として、熱意の伝わるプレゼンでした。



三島北の高校生や大学の先生、大学生の方々と、制限時間内に1つの授業を完成させるのは、大変だった。しかし時間が限られていたおかげで、かえってどんどん意見が出てきて活発なディスカッションができた。各グループの考えた授業案にも自分には出なかったような、聴衆を惹きつけるアイデアがたくさん盛り込まれていて、とても良い刺激になった。(高1 新井 真緒さん)

このフォーラムで、年齢や立場、考え方などがそれぞれ異なった方と同じテーマについて一緒に考えた。自分の意見を言う力、まとめる力、伝える力を身に付けることができた。いろいろな人との交流を通して成長できたと感じた。雨水についても合流式下水道と分流式下水道の違いについて考えを深めることができた。今回の経験を高2の課題研究や将来のために生かしていきたい。(高1 荒井 雅博 さん)

わたしは自分から意見を発信することに苦手意識を持っていたが、今回、勇気を出して自分の意見を積極的に発信することができた。三島北の高校生や大人の方に交じって話し合い、協力して授業を作るという貴重な体験ができた。高校生からの視点だけでなく、大人から見た世界の問題に気付くことができた。今回学んだことを生活に生かし、伝えられるような人材になりたい。(高1 新井 里梨 さん)

「トイレが学校に1つしかなかったら」という授業作りを行った。途上国の中にはトイレが不衛生で粗末なせいで、学校に行けなくなった生徒(特に女子)や、感染症になる生徒もいる体験を聞き、強く印象に残った。日本も、途上国と比べれば恵まれているかもしれないが、日本にもトイレの問題もあるし、決して途上国だけでの問題ではないと気付いた。(高1 王 任道 さん)

このフォーラムを通して、水の大切さや授業を作ることの難しさを実感した。日常生活にさまざまな形で深く関わっている水の重要性を実感した。水の重要性を伝えることは意外に難しく、限られた時間の中で伝えたいことを分かりやすく伝えることは大変だったけれど、同じチームになった様々な方と協力してよい授業が作れたと思う。よい経験になった。(高1 下觸 舞子 さん)

話し合いの中で、私達に身近な雨水を利用しないのはもったいないというところから話が広がり、降った雨が川に流れるまで、どこを通るのかを知ってもらうために体験型の授業を作ろうということに決まった。雨水を貯える仕組みをゲームを通して学ぶ授業は、改善点もたくさんあったし、発表も難しかったが、貴重な体験だった。ぜひ皆さんも水について考えて欲しい。(高1 須藤 悠希 さん)

高校生が自分1人だけのチームで最初は大変だったが、同じテーマにむけて協働して授業を作っていくのがとても楽しめた。自分の考えたアイデアがチームのみんなに採用され、アクティビティ作りの大部分を任されてもらった。大人ばかりチームで高校生は自分だけだったのでとても自信になった。三島北の生徒は全編英語で話していて刺激になった。(高1 庭野 晴希 さん)

